

島津家と飯牟礼神社

■鎮座地 垂水市二川786

■御祭神

倉稻魂神(うがのみたまのかみ)
稻荷神(いなりかみ)

■御神体

御神木像13体・狛犬2体

■建立 1370年

島津氏久公

飯牟礼神社

飯牟礼神社は、深港・二川・上ノ原、三地区の「産土大神」(うぶすなのおおかみ)で、御神体は鋒とされています。元禄7年(1694年)10月7日、火災に

あい、御神体も含めて神社が全焼したと記録されています。

その後、佐藤大和守信秋と云う人が、御神体(神像)を安置しております。

旧暦二月初申の日に、神楽や神舞と言つて剣舞等が、奉納され、氏は蔦の葉・米・種子もみをお供えして、もみを、神米として蒔いたとされています。

島津家とのかかわり

鹿屋池田古文書という文献の中に、南・北朝廷の争いの際、「足利尊氏」側の北朝に属した「島津氏

久公(島津家6代領主)が、九州の南朝勢力制圧のため、南朝側の禰寝氏や、相良氏等と戦いました。苦戦の後退し、まわりが敵に囲まれるなか、山つたいに、今の百引の奥山を通り、市成の飯牟礼坂を越え、「飯牟礼坂の祠(ほころ)」に、たどり着き、その祠で難を逃れられたとされています。

その山の祠の土を紙に包み、二川の浦(現在の深港)にくだった後、浦のお宮に留まり、持つてきた包みを供え、武運長久を祈願しました。その場所に、応安3年(北朝年号1370年)、飯牟礼神社が建立されました。

内殿内には、御神鏡と、御神像(1体は、黒く焦げている)、高麗犬(こまいぬ)2体があります。

戦国時代、牛根に逃れてきた備前(今の岡山県)大名宇喜多秀家がこの神社に立ち寄り、武運長久を祈つて7匹の狛犬を供えたとも伝えられています。

飯牟礼神社の補足

■御利益

商売繁盛・家内安全・交通安全・火災、災難除け・子孫繁栄・学業成就・芸能上達など

■倉稻魂神

穀物の神、特に稲の精霊

■稻荷神

島津家の御祭神であり、県内はもちろん、全国に在る神社の3分の1は、稻荷神社と言われるほどあります。



▲現在の飯牟礼神社

【参考資料】

『垂水市史料集8(牛根篇)』
(垂水市文化財保護審議員・隈元信)



Healthmate recipe of this month 食改さんをご紹介



柳田 朋子さん、山田 福子さん

今月のレシピ 2層に分かれる 不思議なゼリームース

今月のレシピを調理したのは、
小山いつよさん、川越千恵美さん



【材料】(5個分)

- 牛乳/100ml
- 生クリーム/100ml
- 卵/1個
- 100%オレンジジュース /250ml
- 粉ゼラチン/10g
- 砂糖/50g
- お好みのフルーツ/適量

牛乳に酸味のある100%ジュースを加えることで、自然に2層に分かれる不思議なゼリームースです。卵を使用するため、早めに食べきるようにしましょう。

食改完了

【1個あたり】
エネルギー 170kcal
食塩相当量 0.1g



①ボウルに牛乳、生クリーム、卵を割り入れ、よく混ぜ合わせる。



③②に、①を少しずつ入れ、混ぜ合わせる。
※温度を保つことが大切です。火を止めてから、すぐに行いましょう。



⑤粗熱がとれるまで冷まし、その後冷蔵庫で一晩冷やし固める。



②100%オレンジジュースと砂糖、粉ゼラチンを少し大きな鍋に入れて混ぜ合わせながら沸騰直前(80℃)まで加熱し、粉ゼラチンを溶かす。



④型をさっと水にくぐらせ、③を流し入れる。



⑥型から取り出し、お好みでフルーツを飾れば・・・

2層に分かれる不思議なゼリームースの完成です!



▲レシピ動画はこちら